

○第132回動物用医薬品専門調査会（非公開）

日時：平成23年6月24日（金）10：00～12：00

議事概要：

（1）動物用医薬品の食品健康影響評価について

1）アセトアミノフェン

・アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤（ピレキシシン10%）に係る食品健康影響評価については、審議の結果、「アセトアミノフェンについては既存の評価結果を変更する必要はなく、ADIとして0.03mg/kg体重/日を採用することが適当であると考えられる。また、本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じてヒトの健康に影響を与える可能性は無視できるものと考えられる。」とすることが了承され、評価書（案）を、食品安全委員会に報告することとなった。

*豚（哺乳豚を除く）の細菌性肺炎における解熱に用いられる動物用医薬品としての承認申請がされています。

2）ラクトフェリン

・継続審議となった。

*牛の分娩直後の乳房炎発生率の低減に用いられる動物用医薬品としての承認申請がされています。